



普通科人文134班

高千穂に来る観光客を延岡へと運ぶには？

班員 伊東 栞愛 岡田 葵
向 朝陽 黒田 小雪

指導者 五反智大先生
コーチ 水永正憲様

研究の動機・目的

宮崎県も観光地域であると思い、他の観光地域より観光客数が少ないのはなぜなのか疑問に思った。そこで身近な地域(延岡や高千穂)に焦点を当て、今ある観光スポットを活かして、みんなが行きたい旅行プランを立て、観光業と地域の活性化へと繋げたいと思った。また、県外からの観光客数・宿泊客数が少ないなどの、長年問題となっている宮崎の観光業の課題に携わり観光客を増やせるように研究したいと思った。

先行研究(分かっていること)

延岡市南部地域における「自然」、「食」、「歴史・文化」等の観光資源を活かした観光振興施策を検証

研究方法

- ・自分たちで延岡の魅力を探す
→実際に行く、高千穂の魅力と比較してみる(悪いところを探すのではなく、足りないところを見つける)
- ・旅行プランを考えてみる
観光客は何に魅力を感じどのような目的で観光しているのか調べてみる
→それを参考にプランを考え観光協会の方々に見てもらう(改善、付け足し)

仮説

観光協会の方々に私達若者の意見を提案して見ることで、観光客を増やし延岡の活性化に繋がられるのではないかと。

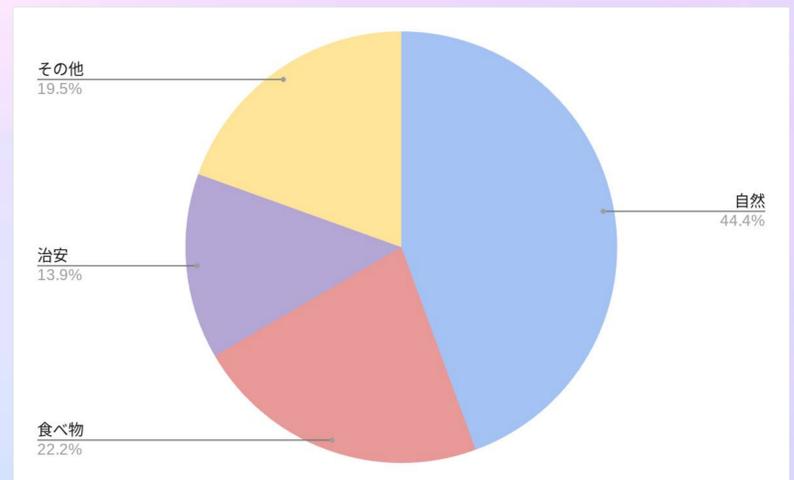
また、高千穂町内に延岡の良さをアピールするポスターを貼ってもらう(日本語のみならず多言語で表記する)ことで日本人に限らず外国の方も延岡に来てくれるのではないかと。

参考文献

- ・延岡市南部地域等観光資源調査
<https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/uploaded/attachment/1414.pdf>
- ・新たな価値観による中心市街地活性化(エリアマネジメント)事業(商業・駅まち振興課)
<https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/uploaded/attachment/1478.pdf>
- ・Let'sミヤタビ
<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/6027/wysiwyg/file/download/1/850>

考察

私達が小さい頃から暮らしてきた延岡の良さを体験できる旅行プランを、みんなに協力してもらったアンケートをもとに計画し、観光協会の方々に見せアドバイスしてもらうことで、高千穂に来る観光客が延岡を訪れるきっかけになるのではないかと。



旅行プラン

- 8:15 発 高千穂(宮交バスセンター)
- 9:44 着 延岡駅 10:19 発 延岡駅 11:10 着 古江
徒歩1分 北浦臨海パーク
- 11:15 クルージング(島浦周遊コース、無人島上陸コース)
- 12:15 鱈屋金太郎で昼飯 目安13:30 まで
徒歩5分 北浦臨海パークでお土産を見る
- 2:00 発 古江 2:45 着 延岡駅
- 3:00~6:00 自由時間
- 6:00~ チキン南蛮を食べる(おぐらor直ちゃん)

～自由時間のすすめ～

- ・スイーツ巡り
ティファニー、Diario、パリの街角、スイーツポシェット
- ・神話巡り
今山神社、愛宕山、城山公園など
- ・アウトドア系
サバゲー、いちご狩り

まとめ

観光協会の方々ともう少し連携を取っておけばより良いプランを立てたのではないかと思います。また、今後は高千穂町内に自作のポスターを貼ってもらったり、旅行プランをモデルコースにさせていただくなど取り組みを続けていきます。



